

7. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北陸)	◎	商店街（代表者）	・鉄道の片道半額切符や県民向けの県内旅行応援事業の影響で、ホテルの飲食店を中心に予約が殺到している。多少なりとも人通りが増えることにより、小売店も売上が伸びると見込んでいる。第6波があるかどうか定かではないので、思い切った投資ができないという不安要素がある。
	◎	コンビニ（営業）	・人出、来客数共に増えてきており、本格的にウィズコロナの段階に入ったと感じている。
	◎	一般レストラン（統括）	・北陸は前年同時期と同様に、11～12月は冬の幸で観光客や出張者が急激に増えるとみており、既に駅周辺のホテル予約、旅行の予約がどんどん増えている状況である。これらの動きにより、前年同様に年末は景気が右肩上がりになると考える。
	◎	観光型旅館（スタッフ）	・9月30日に緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置等が解除されたことで、予約が大幅に増加している。解除から20日がたち、特に11月は49%増加となっている。
	○	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスによる不確実性はあるものの、穏やかに回復基調となることを期待している。
	○	一般小売店〔事務用品〕（店長）	・新型コロナウイルスへの感染対策が一般常識になり、ワクチン接種が増えて、外出しやすくなるという点で、購買意欲も湧くとみている。
	○	一般小売店〔鮮魚〕（役員）	・一部の特急列車が11月から運賃半額キャンペーンをやるそうである。Go To Travelキャンペーンと共に客足の増加が見込める。新型コロナウイルスの第6波やインフルエンザは本当に勘弁してほしい。
	○	一般小売店〔書籍〕（従業員）	・新型コロナウイルスの感染も一段落し、客の動きは今までよりも大きく伸びるだろうと考える。
	○	百貨店（売場主任）	・約1年半続いた外出を控える傾向からの反動と、政府主導によるGo Toキャンペーン関連施策の再開に期待する。
	○	百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルスの感染が抑制された状況が続く、クリスマスや年末年始といった動きのなかで上向くとみている。ホームパーティーや近場の旅行に関連した商品、総菜などのテイクアウト商品、旅行関連ウェアやクリスマス、ブライダル等のギフト需要が上向きになる商材と見込んでいる。
	○	スーパー（総務担当）	・時短要請などが緩和されたことにより、飲食店を利用する機会が増えることは間違いないと考えるが、職を失った人が飲食店を利用できるかは疑問である。
	○	コンビニ（店舗管理）	・ワクチン接種が行き渡り、自粛ムードも緩和された雰囲気を感じる。
	○	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大が今のように入まってくれば、心理的にも改善していくものと期待している。
	○	衣料品専門店（経営者）	・外出や外食に対して抵抗がなくなると洋服を新調するようになり、売上も上向きになるとみている。
	○	乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大が収まりつつあり、メーカーからの新車入荷が少しずつ良くなるとみているので、売上も増えてくると考える。
	○	乗用車販売店（役員）	・供給遅れが解消され、配車が進むことにより徐々に販売台数も上向いてくることを期待している。
	○	自動車備品販売店（役員）	・徐々にではあるが冬季用品の予約が例年並みに戻り、滞留時間も増え、買物を楽しむ姿も以前と変わらない状況になってきている。
	○	その他専門店〔酒〕（経営者）	・ワクチン接種やGo To Eatキャンペーン再開に加えて、来月になると当地ではカニ漁が解禁になり、当店が酒類を納めている料理店へも客が来店し、酒を飲んでもらえるのではないかと期待している。結果は今はまだ分からないが、希望的観測でやや良くなるとみている。
	○	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・新規感染者数が低調なまま、経済対策等が出てくることで徐々に消費が回復してくると捉えている。特に年末年始に消費者の行動が広がりをみせる状況になることが1つの目安である。具体的には旅行の予約や帰省などの交通機関の予約が回復してくれば、関連した業種の回復が期待できる。
	○	一般レストラン（店長）	・昼の人出は少し増えたようだが、夜はまだまだ厳しい。しかし、増える気配があるので期待したい。

○	スナック（経営者）	・当店の周りの小料理屋や居酒屋が、若い客の来店で忙しくなってきたという話を聞き、少しずつ客が戻ってくるのではないかと期待がある。
○	観光型旅館（経営者）	・感染者数次第だが、少しずつ新型コロナウイルス発生前の日常が戻ってきているように見える。今後、Go Toキャンペーンの再開などで少しずつ回復すると考える。
○	都市型ホテル（役員）	・緊急事態宣言の解除により経済活動が再開し、ビジネス利用客の回復が見込める。
○	タクシー運転手	・今後は年末にかけて忙しくなる月であるが、新型コロナウイルスの感染状況でどう変化するか期待が半分、心配や不安が半分である。
○	タクシー運転手	・当地では飲食店利用の自粛要請が大幅に緩和され、これからの時期は飲食店への人出が増えるとみている。
○	通信会社（職員）	・新型コロナウイルスの感染状況次第だが、ワクチン接種の効果を見込んでいる。
○	通信会社（営業担当）	・年末商戦及び在庫入荷状況が改善されると見込み、全体の販売量が伸びると考える。
○	通信会社（役員）	・行動制限が緩和され、経済が回り始めると見込んでいる。また、年末の商戦期を迎えることで、契約者数も伸びると考える。
○	通信会社（役員）	・新規感染者数が大幅に減少しており、今後、消費活動自体は徐々に回復すると考える。ただし、今回の新型コロナウイルスの影響により、既存の事業は変化や変革が必要になっている。全体的に景気は良くなっていくとみているが、飛躍的に良くなる会社と苦境に追いやられる会社の両極端になると考えている。
○	テーマパーク（役員）	・県民割引等の需要喚起策も開始され、また、感染状況が落ち着いてきている影響からか、予約も徐々に増加し始めている。2～3か月先に向けてやや良くなる傾向になるとみている。
○	競輪場（職員）	・新型コロナウイルスの感染状況の鎮静化に伴い、営業を自粛していた場外車券売場が営業を再開する。
○	美容室（経営者）	・新型コロナウイルス感染症による今後の不透明さはあるが、地域における振興策により飲食関係を始めとするいろいろなサービス業が活況を呈するとみている。
○	住宅販売会社（従業員）	・今後徐々に住宅展示会で来場者が増え、景気回復につながるとみている。
□	一般小売店〔精肉〕（店長）	・ゴルフなどの景品等の注文は増えてきているが、景品の注文は11～12月に向かって減っていくことから、その辺の需要が見込めない。ギフト等の動きがどの程度になるか分からないが、前年はそこそこあったので、今年も変わらないのではないかと考えている。
□	百貨店（販売担当）	・気温低下による需要や、今まで減少していた旅行や出張などの需要で一時的には好調になるが、抜本的な改善にはつながらないとみている。店舗での集客のアイデアが必要である。話題性のある商品や楽しさにつながる企画によって冷えた消費行動やネットでの購買行動に変化を与え、リアルでの購買の楽しさから売上拡大を目指していく。
□	スーパー（店舗管理）	・既存客の来店頻度は変化がなく、特に高齢者層でその傾向が顕著である。一方で20～40代は、男女問わずスーパーマーケットとドラッグストアを上手に使い分けて家計支出を抑えている傾向にある。
□	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着いてきていても状況が変わらない。
□	コンビニ（店長）	・新規感染者数の増加がなければ景気は上向きの状態が続くとみているが、いつ第6波が来るか分からないため、安易に数か月先まで景気が良くなるといえない。景気が上向けば今よりも人件費などを多く使うことが出てくるが、現状ではいつ売上が下がるかを警戒しており、必要最小限若しくはそれ以下の人員で無理して店舗を運営している状況である。景気は新規感染者数の増減で左右されそうな状況だと考えている。
□	家電量販店（本部）	・緊急事態宣言が解除されても、大きく景気が良くなっている印象は受けない。これから感染が拡大しないという保証もなく、しばらく景気は良くならない。

	□	都市型ホテル（スタッフ）	・しばらくは感染の再拡大に気を付けながら様子見する感じである。新年会は新型コロナウイルス発生前の4割ほどの予約があるが、実施されるか分からない。宴会をしても良いという社会的な安心感がまだない。
	□	旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスの影響を直接受ける業種である以上、楽観的な予想は全くできない。
	□	通信会社（営業担当）	・新機種が発売されて問合せは多いが、販売数をみると特に大きな変化はみられない。
	□	その他レジャー施設「スポーツクラブ」（総支配人）	・今後の不安は付きまどっているが、新規感染者数の減少はプラス要因である。しかし、業界の動向はまだまだ冷え切っており、燃料代の高騰も追い打ちとなって大きなマイナス要因となっている。特に今から冬に向かって、入会者数の増加を見込めないところが問題である。
	□	住宅販売会社（営業）	・政府による住宅業界向けの景気浮揚策等が具体的に示されるなどのきっかけがない限り、客足が回復するイメージが湧かない。
	▲	商店街（代表者）	・都会での緊急事態宣言の解除で地方の人出も戻っている。しかし、解除に伴い補助金の支給停止で収入が減少する事例があり、これからが大変だという声が多い。今年の冬も日本海側では雪が多いと予想され、苦境は続きそうである。
	▲	スーパー（仕入担当）	・商品の値上げラッシュが止まらない。ボーナス商戦は先行き不安や年末消費に向け、財布のひもが固くなるとみている。
	▲	家電量販店（店長）	・前年は巣籠り需要に対して集客があったが、今年は緊急事態宣言の解除により、観光やレジャー等に流れているようで特に週末の来客数が少ない。
	▲	乗用車販売店（従業員）	・半導体不足の影響があり、厳しい状況が続いている。
	▲	住関連専門店（役員）	・新型コロナウイルス感染症の落ち着きにより、外へ向けた消費が今後も確実に増加する。また、冬季には第6波の予測があり、依然として先行きは不透明である。
	▲	高級レストラン（スタッフ）	・旅行代理店を経由すると、県が企画する旅行割引と市が企画する宿泊のセット割引を併用して受けられるため、個人や団体利用が激増している。しかし、それぞれ12月末と1月末までの企画のため、終了後には反動があるとみている。
	▲	パチンコ店（経理）	・ガソリンなど物価の上昇によって個人消費が落ちるとみている。
	▲	住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルスの第6波がどうなるか、これからの新しい生活様式がどうなるか、注意してみたい。
	×	スーパー（店長）	・外食需要の活気が戻りつつあり、スーパーマーケットでは特に夕方の方の来客数が減少傾向である。
企業 動向 関連 (北陸)	◎	*	*
	○	精密機械器具製造業（役員）	・一部で新型コロナウイルス第6波への不安はあるものの、国内大手の取引先数社では既に回復基調が明らかことから、少なくともここ数か月前と比べれば良い方向へ向かっていくとみている。
	○	建設業（経営者）	・当社に限ったことではあるが、8億円の大型工事が完成し、それに伴う利益も予想どおり確保できるので先行きは明るい。
	○	輸送業（管理会計担当）	・緊急事態宣言の解除により、都市部からの荷物は引き続き堅調に推移するとみている。
	□	繊維工業（総括）	・全体としては回復基調にあるものの、サプライチェーンの分断や原材料価格高騰の影響を懸念する。
	□	プラスチック製品製造業（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大や半導体不足が短期的に解消することは難しいとみており、今しばらく本格的な回復には至らないと考える。
	□	一般機械器具製造業（経理担当）	・特にオートバイ関係の部品受注において海外からの需要が急速に高まっている。しかし、コロナ禍からの回復の反動か、船便の手配が付かず港で在庫となっている状態である。この状況がいつ解消するか不透明である。
	□	一般機械器具製造業（総務担当）	・半導体製造向けが好調なものの、工作機械における受注量の増加は一旦落ち着いてきている。
	□	建設業（役員）	・現状の受注量についても前年を下回る懸念があり、今後も厳しい状況が続くのではないかと考える。

	□	通信業（営業）	・新型コロナウイルスの影響等により、先行きの様子見をしている感じであり、全般的には横ばい傾向とみている。また、営業時間等が制限されていた飲食業界は活性化するものの、業績黒字化へはまだまだ時間が掛かるため、景気も当面は現状維持とみている。
	□	金融業（融資担当）	・年末に向けて個人消費の上振れが期待できるが、原価の上振れで利益ベースでは相殺されそうである。個人消費の中心である自動車は納車が遅れており、本格的に個人消費が高まるのはまだ先になりそうである。
	□	金融業（融資担当）	・全国で緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルスの新規感染者数も減少しており、観光や飲食業の需要が回復の兆しをみせている。一方、原油や各種資材価格の高騰による利益圧迫要因や世界的なコンテナ不足による船積遅延、自動車産業の減産などの懸念材料もあり、横ばいでの推移を見込んでいる。
	□	司法書士	・新型コロナウイルスの感染状況の落ち着きから、売上を期待する取引先と、新規感染者数が減少しても建築資材の高騰や材料の不足等で仕事の増加につながらず、混乱が当分続くとみている取引先がある。
	□	税理士（所長）	・小売も含めて観光業や飲食業は良くなってくると考える。ただし、製造業は厳しい状況である。経営者の話では、この先4～5か月はまだ厳しい状況が続くのではないかという意見が多い。住宅関係もウッドショックで今は受注が控えられており、非常に厳しい状態が続くのではないかと心配している。
	▲	食料品製造業（経営企画）	・自粛解禁ムードのなかで年末年始の需要期を迎えることになれば、受注量、販売量共に更なる上積みが見込める。しかし、一方で原材料や燃料など複数のコストアップ要因に直面しており、収益性の面では悲観している。
	▲	金属製品製造業（経営者）	・2～3か月先の分における注文の入り具合から、やや悪くなると考える。
	▲	不動産業（経営者）	・現在は少し動きが出てきており、個人客や法人客の問合せも多少増えてきてはいるが、2～3か月先の話になると動きが少ない。
	×	輸送業（役員）	・燃料高のため悪くなる。
雇用 関連	◎	—	—
(北陸)	○	人材派遣会社（社員）	・求人数の増加や求人範囲が広がることで求職者の選択範囲も拡大する。優良案件への応募数の増加を見込んでいるが、人数枠は限られている。マッチングできなかったとしても、次の案件へと求職活動が活発になるのではないかと推測する。
	○	新聞社 [求人広告]（営業）	・新型コロナウイルスの感染状況が悪くならないことが大前提だが、レジャー、旅行、飲食など止まっていた業種が動き出したことが大きいのではないかと考える。
	○	民間職業紹介機関（経営者）	・今はまだ募集や採用は少ないが、人手不足の折から先を見越しての求人数が徐々に増加していくものとみている。
	□	求人情報誌製作会社（編集者）	・大きな雇用の動きが出てこない。
	□	新聞社 [求人広告]（担当者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少傾向にあること、ワクチン接種が進んだことを受けて、少しずつ経済が回り始めている。ただ、これから冬場に向かって感染が再拡大する懸念があり、当面は一進一退の状況が続くと考える。
	□	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス第6波の到来により、求人募集を控える事業所が出てくるとみられるが、いかなる状況であれ、定年退職者や欠員の求人募集は出てくるため変わらないとみている。
	□	職業安定所（職員）	・衆議院選挙次第である。
	□	学校 [大学]（就職担当）	・求人数について、状況が変わる要素や気配が見受けられない。
	▲	職業安定所（職員）	・年末年始の景気浮揚の反動が出てくる時期と、北陸の降雪期に当たると、やや悪くなる。
	×	—	—